

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	213,499	216,494
受取手形及び売掛金	901,316	778,673
有価証券	60,426	102,646
商品及び製品	139,162	157,166
仕掛品	106,268	145,803
原材料及び貯蔵品	88,686	96,771
繰延税金資産	72,519	70,244
その他	132,708	144,992
貸倒引当金	△12,802	△12,108
流動資産合計	1,701,782	1,700,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	284,631	265,785
機械及び装置（純額）	91,831	79,146
工具、器具及び備品（純額）	123,770	124,649
土地	115,614	109,125
建設仮勘定	25,097	29,586
有形固定資産合計	640,943	608,291
無形固定資産		
ソフトウェア	132,274	132,922
のれん	67,526	32,478
その他	30,487	24,436
無形固定資産合計	230,287	189,836
投資その他の資産		
投資有価証券	149,097	153,222
繰延税金資産	65,268	73,310
その他	164,630	167,029
貸倒引当金	△6,500	△5,931
投資その他の資産合計	372,495	387,630
固定資産合計	1,243,725	1,185,757
資産合計	2,945,507	2,886,438

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	617,755	545,842
短期借入金	67,936	263,638
1年内償還予定の社債	60,986	25,857
リース債務	15,794	14,453
未払費用	342,541	292,811
未払法人税等	18,627	11,360
製品保証引当金	28,398	25,051
工事契約等損失引当金	13,918	9,564
事業構造改善引当金	6,793	11,729
役員賞与引当金	78	—
その他	244,612	238,367
流動負債合計	1,417,438	1,438,672
固定負債		
社債	170,300	210,300
長期借入金	81,926	46,950
リース債務	27,735	26,425
繰延税金負債	27,939	28,260
再評価に係る繰延税金負債	503	503
退職給付引当金	180,491	185,365
電子計算機買戻損失引当金	14,356	13,274
リサイクル費用引当金	6,690	6,997
製品保証引当金	2,006	2,025
事業構造改善引当金	1,271	12,329
その他	48,254	51,435
固定負債合計	561,471	583,863
負債合計	1,978,909	2,022,535
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,625	324,625
資本剰余金	236,432	236,429
利益剰余金	365,300	254,641
自己株式	△318	△330
株主資本合計	926,039	815,365
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,660	15,289
繰延ヘッジ損益	907	113
土地再評価差額金	2,584	2,583
為替換算調整勘定	△102,151	△93,951
その他の包括利益累計額合計	△85,000	△75,966
新株予約権	78	80
少数株主持分	125,481	124,424
純資産合計	966,598	863,903
負債純資産合計	2,945,507	2,886,438

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)
売上高	3,172,057	3,120,064
売上原価	2,316,320	2,288,185
売上総利益	855,737	831,879
販売費及び一般管理費	845,488	828,312
営業利益	10,249	3,567
営業外収益		
受取利息	2,107	1,405
受取配当金	2,926	2,062
持分法による投資利益	1,822	2,151
為替差益	—	4,201
雑収入	6,020	5,593
営業外収益合計	12,875	15,412
営業外費用		
支払利息	7,078	5,310
為替差損	4,334	—
固定資産廃棄損	1,424	1,452
雑支出	7,970	6,710
営業外費用合計	20,806	13,472
経常利益	2,318	5,507
特別利益		
負ののれん発生益	—	199
特別利益合計	—	199
特別損失		
事業構造改善費用	2,743	※1 59,138
減損損失	—	※2 28,049
災害による損失	7,529	—
退職給付制度の移行に伴う損失	717	—
特別損失合計	10,989	87,187
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,671	△81,481
法人税、住民税及び事業税	12,877	10,675
法人税等調整額	△18,055	△3,926
法人税等合計	△5,178	6,749
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,493	△88,230
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,933	1,897
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,440	△90,127

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△3,493	△88,230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,681	1,736
繰延ヘッジ損益	△2	△314
土地再評価差額金	72	—
為替換算調整勘定	△17,577	8,405
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,538	△60
その他の包括利益合計	△23,726	9,767
四半期包括利益	△27,219	△78,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20,979	△81,064
少数株主に係る四半期包括利益	△6,240	2,601

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	1,079,740	1,048,251
売上原価	797,904	776,540
売上総利益	281,836	271,711
販売費及び一般管理費	278,638	275,834
営業利益又は営業損失(△)	3,198	△4,123
営業外収益		
受取利息	677	475
受取配当金	487	582
持分法による投資利益	—	888
為替差益	2,369	6,209
雑収入	3,227	2,460
営業外収益合計	6,760	10,614
営業外費用		
支払利息	2,233	1,579
持分法による投資損失	306	—
固定資産廃棄損	719	439
雑支出	2,351	1,888
営業外費用合計	5,609	3,906
経常利益	4,349	2,585
特別損失		
事業構造改善費用	2,743	59,138
減損損失	—	28,049
特別損失合計	2,743	87,187
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,606	△84,602
法人税、住民税及び事業税	1,558	1,374
法人税等調整額	5,347	△7,194
法人税等合計	6,905	△5,820
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,299	△78,782
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△965	286
四半期純損失(△)	△4,334	△79,068

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,299	△78,782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△868	6,376
繰延ヘッジ損益	14	△288
土地再評価差額金	72	—
為替換算調整勘定	1,002	18,019
持分法適用会社に対する持分相当額	953	1,216
その他の包括利益合計	1,173	25,323
四半期包括利益	△4,126	△53,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,267	△55,496
少数株主に係る四半期包括利益	△859	2,037

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△8,671	△81,481
減価償却費	141,804	132,151
減損損失	—	28,049
のれん償却額	11,192	11,368
引当金の増減額 (△は減少)	△18,920	8,472
受取利息及び受取配当金	△5,033	△3,467
支払利息	7,078	5,310
持分法による投資損益 (△は益)	△1,822	△2,151
固定資産廃棄損	2,900	2,480
売上債権の増減額 (△は増加)	66,067	136,395
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△62,880	△64,342
仕入債務の増減額 (△は減少)	△24,108	△83,211
その他	△46,725	△49,525
小計	60,882	40,048
利息及び配当金の受取額	5,590	3,981
利息の支払額	△10,027	△5,292
法人税等の支払額	△31,165	△18,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,280	20,635
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△96,705	△80,037
有形固定資産の売却による収入	3,537	3,601
無形固定資産の取得による支出	△38,497	△43,726
投資有価証券の取得による支出	△5,771	△3,713
投資有価証券の売却による収入	4,712	1,185
事業譲渡による収入	—	※2 10,203
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	45	—
その他	△163	△10,348
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,842	△122,835
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	162,711	161,044
長期借入れによる収入	34,129	11,500
長期借入金の返済による支出	△34,923	△16,903
社債の発行による収入	60,894	67,798
社債の償還による支出	△103,639	△62,678
自己株式の売却による収入	20	6
自己株式の取得による支出	△106	△21
配当金の支払額	△22,666	△23,006
その他	△20,578	△13,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	75,842	124,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,062	3,508
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△42,782	25,692
現金及び現金同等物の期首残高	358,593	266,698
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,100	528
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 319,911	※1 292,918

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

摘要	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
1. 保証債務 保証債務残高 (主な被保証先)	2,271百万円 ・従業員の住宅ローン 2,263	1,805百万円 ・従業員の住宅ローン 1,803
	上記、保証債務残高及び主な被保証先には債務保証の他、保証予約、経営指導念書等の保証類似行為を含めて表示しております。	上記、保証債務残高及び主な被保証先には債務保証の他、保証予約、経営指導念書等の保証類似行為を含めて表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

摘要	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
※1. 事業構造改善費用	—————	L S I 事業の構造改革に関連し57,089百万円(内、工場の譲渡損失33,146百万円、基盤系工場の減損損失23,943百万円)を計上しました。工場の譲渡損失の内訳は、譲渡した岩手工場及び後工程製造拠点に係る操業保証20,895百万円、後工程製造拠点の譲渡に伴う人員関連費用や減損損失等12,251百万円です。基盤系工場の減損損失は、稼働率が低下している三重や会津若松地区の200mmライン等に係るものです。このほか、海外事業他においても事業構造改善費用2,049百万円を計上しております。なお、事業構造改善費用にはL S I 事業等において計上した減損損失26,538百万円を含めております。
※2. 減損損失	—————	欧州子会社Fujitsu Technology Solutions (Holding) B.V. ののれん等に係るものです。欧州地域での景気低迷の長期化や競争激化を受けて、平成21年4月の買収時に策定した10年間の投資資金の回収計画が達成できない見込みとなったため、買収に伴い計上したのれん等の未償却残高について、減損損失を計上しました。なお、L S I 事業等において計上した減損損失26,538百万円については事業構造改善費用に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

摘要	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年12月31日)																				
※1. 現金及び現金同等物の 四半期末残高と四半期 連結貸借対照表に掲記 されている科目の金額 との関係	<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>226,511百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td>100,515</td> </tr> <tr> <td>満期日が3ヶ月を超え る預金及び有価証券</td> <td>△7,115</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr/></td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>319,911</td> </tr> </table>	現金及び預金	226,511百万円	有価証券	100,515	満期日が3ヶ月を超え る預金及び有価証券	△7,115	<hr/>		現金及び現金同等物	319,911	<table border="0"> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>216,494百万円</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td>102,646</td> </tr> <tr> <td>満期日が3ヶ月を超え る預金及び有価証券</td> <td>△26,222</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><hr/></td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>292,918</td> </tr> </table>	現金及び預金	216,494百万円	有価証券	102,646	満期日が3ヶ月を超え る預金及び有価証券	△26,222	<hr/>		現金及び現金同等物	292,918
現金及び預金	226,511百万円																					
有価証券	100,515																					
満期日が3ヶ月を超え る預金及び有価証券	△7,115																					
<hr/>																						
現金及び現金同等物	319,911																					
現金及び預金	216,494百万円																					
有価証券	102,646																					
満期日が3ヶ月を超え る預金及び有価証券	△26,222																					
<hr/>																						
現金及び現金同等物	292,918																					
※2. 事業譲渡による収入	—————	主にL S I 事業の岩手工場及び後工程製造 拠点の譲渡に伴う固定資産等の売却収入で す。																				

(株主資本等関係)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	10,348	5円	平成23年3月31日	平成23年6月1日	利益剰余金
平成23年10月26日 取締役会	普通株式	10,348	5円	平成23年9月30日	平成23年11月22日	利益剰余金

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 取締役会	普通株式	10,347	5円	平成24年3月31日	平成24年6月4日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	10,346	5円	平成24年9月30日	平成24年11月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社及び連結子会社（以下、当社グループ）の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績評価のために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、ICT（Information and Communication Technology）分野において、各種サービスを提供するとともに、これらを支える最先端、高性能かつ高品質のプロダクト及び電子デバイスの開発・製造・販売から保守運用までを総合的に提供するトータルソリューションビジネスを営んでおります。当社は、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「テクノロジーソリューション」、「ユビキタスソリューション」及び「デバイスソリューション」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントの事業の管理体制並びに製品及びサービスの種類は以下のとおりであります。

(1)テクノロジーソリューション

プロダクト・ソフトウェア・サービスが一体となった総合的なサービスを顧客に最適な形で提供するため、グローバルな戦略立案やコストマネジメントなどの事業管理を推進するための製品・サービス別のビジネス部門と、地域・業種別の営業部門による複合型の事業管理体制をとっております。

当該報告セグメントは、情報通信システムの構築などを行うソリューション/SI、アウトソーシングや保守サービスを中心とするインフラサービス、ICTの基盤となる、サーバやストレージシステムなどのシステムプロダクトと携帯電話基地局や光伝送システムなどの通信インフラを提供するネットワークプロダクトにより構成されています。

(2)ユビキタスソリューション

営業部門も含め製品別に独立した事業管理体制をとっております。

当該報告セグメントは、当社グループが実現を目指す「ヒューマンセントリック・インテリジェントソサエティ」（誰もが複雑な技術や操作を意識せずに、ICTが創出する価値の恩恵を享受できる社会）において、人や組織の行動パターンから生み出される様々な情報や知識を収集・活用するユビキタス端末あるいはセンサーとして、パソコン/携帯電話のほか、オーディオ・ナビゲーション機器や移動通信機器、自動車用電子機器により構成されています。

(3)デバイスソリューション

営業部門も含め製品別に独立した事業管理体制をとっております。

当該報告セグメントは、最先端テクノロジーとして、デジタル家電や自動車、携帯電話、サーバなどに搭載されるLSIのほか、半導体パッケージ、電池をはじめとする電子部品により構成されています。

Ⅱ 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テクノロジー ソリューション	ユビキタス ソリューション	デバイス ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,017,907	734,865	378,461	3,131,233	31,832	3,163,065
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53,671	82,142	48,171	183,984	34,989	218,973
計	2,071,578	817,007	426,632	3,315,217	66,821	3,382,038
セグメント利益又は損失（△）	71,673	6,418	△13,240	64,851	△244	64,607

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、次世代スーパーコンピュータ事業、当社グループ会社向け情報システム開発・ファシリティサービス事業及び当社グループ従業員向け福利厚生事業等が含まれております。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	金額
報告セグメント計	3,315,217
「その他」の区分の売上高	66,821
セグメント間取引消去他	△209,981
四半期連結損益計算書の売上高	3,172,057

（単位：百万円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	64,851
「その他」の区分の損失（△）	△244
全社費用（注）	△54,654
セグメント間取引消去他	296
四半期連結損益計算書の営業利益	10,249

（注）「全社費用」は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究等の戦略費用及び親会社におけるグループ経営に係る共通費用であります。

Ⅲ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テクノロジー ソリューション	ユビキタス ソリューション	デバイス ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,001,657	733,140	357,945	3,092,742	15,500	3,108,242
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,420	82,756	40,250	162,426	34,578	197,004
計	2,041,077	815,896	398,195	3,255,168	50,078	3,305,246
セグメント利益又は損失（△）	70,685	8,367	△16,362	62,690	△5,111	57,579

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、次世代スーパーコンピュータ事業、当社グループ会社向け情報システム開発・ファシリティサービス事業及び当社グループ従業員向け福利厚生事業等が含まれております。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	金額
報告セグメント計	3,255,168
「その他」の区分の売上高	50,078
セグメント間取引消去他	△185,182
四半期連結損益計算書の売上高	3,120,064

（単位：百万円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	62,690
「その他」の区分の損失（△）	△5,111
全社費用（注）	△54,903
セグメント間取引消去他	891
四半期連結損益計算書の営業利益	3,567

（注）「全社費用」は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究等の戦略費用及び親会社におけるグループ経営に係る共通費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

L S I 事業等に係る固定資産の減損損失26,538百万円を事業構造改善費用に含めて特別損失に計上しております。また欧州子会社Fujitsu Technology Solutions (Holding) B.V.（以下、F T S）の買収時に計上したのれんの減損損失24,895百万円及び無形固定資産の減損損失3,154百万円を特別損失に計上しております。当社グループの事業セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であるため、事業セグメントには配分しておりません。

なおF T Sに係るのれんの償却額及び未償却残高は、当社の報告セグメント上「テクノロジーソリューション」の利益及び資産の額に含まれております。

Ⅳ 前第3四半期連結会計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テクノロジー ソリューション	ユビキタス ソリューション	デバイス ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	672,961	274,200	123,587	1,070,748	5,947	1,076,695
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,202	26,998	14,599	54,799	11,861	66,660
計	686,163	301,198	138,186	1,125,547	17,808	1,143,355
セグメント利益又は損失（△）	25,951	2,083	△8,402	19,632	855	20,487

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、次世代スーパーコンピュータ事業、当社グループ会社向け情報システム開発・ファシリティサービス事業及び当社グループ従業員向け福利厚生事業等が含まれております。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

売上高	金額
報告セグメント計	1,125,547
「その他」の区分の売上高	17,808
セグメント間取引消去他	△63,615
四半期連結損益計算書の売上高	1,079,740

（単位：百万円）

利益又は損失	金額
報告セグメント計	19,632
「その他」の区分の利益	855
全社費用（注）	△18,120
セグメント間取引消去他	831
四半期連結損益計算書の営業利益	3,198

（注）「全社費用」は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究等の戦略費用及び親会社におけるグループ経営に係る共通費用であります。

V 当第3四半期連結会計期間（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	テクノロジー ソリューション	ユビキタス ソリューション	デバイス ソリューション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	687,464	238,152	115,958	1,041,574	2,759	1,044,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,171	28,356	13,546	55,073	11,612	66,685
計	700,635	266,508	129,504	1,096,647	14,371	1,111,018
セグメント利益又は損失(△)	23,591	△2,061	△9,323	12,207	△1,959	10,248

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、次世代スーパーコンピュータ事業、当社グループ会社向け情報システム開発・ファシリティサービス事業及び当社グループ従業員向け福利厚生事業等が含まれております。

2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,096,647
「その他」の区分の売上高	14,371
セグメント間取引消去他	△62,767
四半期連結損益計算書の売上高	1,048,251

(単位:百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	12,207
「その他」の区分の損失(△)	△1,959
全社費用(注)	△17,818
セグメント間取引消去他	3,447
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,123

(注) 「全社費用」は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究等の戦略費用及び親会社におけるグループ経営に係る共通費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

L S I 事業等に係る固定資産の減損損失26,538百万円を事業構造改善費用に含めて特別損失に計上しております。また欧州子会社Fujitsu Technology Solutions (Holding) B.V. (以下、F T S) の買収時に計上したのれんの減損損失24,895百万円及び無形固定資産の減損損失3,154百万円を特別損失に計上しております。当社グループの事業セグメントの利益は、営業利益をベースとした数値であるため、事業セグメントには配分しておりません。

なおF T Sに係るのれんの償却額及び未償却残高は、当社の報告セグメント上「テクノロジーソリューション」の利益及び資産の額に含まれております。

【関連情報】

地域ごとの情報

売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

（単位：百万円）

国内 （日本）	海外				合計
	EMEA	米州	APAC・中国	計	
2,066,855 （ 65.2%）	594,213 （ 18.7%）	213,082 （ 6.7%）	297,907 （ 9.4%）	1,105,202 （ 34.8%）	3,172,057 （ 100.0%）

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

（単位：百万円）

国内 （日本）	海外				合計
	EMEA	米州	APAC・中国	計	
2,059,869 （ 66.0%）	538,696 （ 17.3%）	201,009 （ 6.4%）	320,490 （ 10.3%）	1,060,195 （ 34.0%）	3,120,064 （ 100.0%）

前第3四半期連結会計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

（単位：百万円）

国内 （日本）	海外				合計
	EMEA	米州	APAC・中国	計	
720,049 （ 66.7%）	201,370 （ 18.6%）	63,379 （ 5.9%）	94,942 （ 8.8%）	359,691 （ 33.3%）	1,079,740 （ 100.0%）

当第3四半期連結会計期間（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）

（単位：百万円）

国内 （日本）	海外				合計
	EMEA	米州	APAC・中国	計	
681,329 （ 65.0%）	199,137 （ 19.0%）	65,422 （ 6.2%）	102,363 （ 9.8%）	366,922 （ 35.0%）	1,048,251 （ 100.0%）

（注）1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 海外の各区分に属する主な国又は地域

(1) EMEA（欧州・中近東・アフリカ） ……イギリス、ドイツ、スペイン、フィンランド、スウェーデン

(2) 米州 ……米国、カナダ

(3) APAC（アジア・パシフィック）・中国 ……オーストラリア、シンガポール、韓国、台湾、中国

3. （ ）内は連結売上高に占める割合であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)	0円70銭	△43円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	1,440	△90,127
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失(△)(百万円)	1,440	△90,127
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,069,574	2,069,339
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	0円69銭	—
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	△13	—
(うち子会社及び関連会社の発行する潜在株式による 調整額(百万円))	(△13)	(—)
(うち社債費用等(税額相当額控除後)(百万円))	(—)	(—)
普通株式増加数(千株)	—	—

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△2円09銭	△38円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失(△)(百万円)	△4,334	△79,068
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失(△)(百万円)	△4,334	△79,068
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,069,494	2,069,327

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社は平成25年2月7日開催の臨時取締役会において、半導体事業の構造改革及び徹底した経営効率改善を進める方針を決定いたしました。

半導体事業については、ファブレス形態の新会社を設立し外部投資家の出資を受入れた上でのパナソニック株式会社とのシステムLSI事業の統合、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Limitedを含む新ファウンドリ企業への三重工場300mmラインの移管という方針を決定し、具体的な検討に入りました。また、徹底した経営効率改善を進めるため、国内外での転進支援施策と外部リソースの削減(5,000名程度)や半導体事業再編に伴う転籍(4,500名程度)、人事制度/運用の見直しなどの緊急人事施策を必要に応じて労働組合と協議の上、進めてまいります。

なお、本施策にもとづく連結業績に与える影響については、現在精査中です。